

しゃきょう

令和5年8月1日発行 第468号

発行 八丈町社会福祉協議会

八丈町三根2番地

TEL 04996-2-2609

FAX 04996-2-4655

心配ごと相談 TEL 2-5000

Eメール info@8jo-syakyo.or.jp

HP <https://8jo-syakyo.or.jp/>



社協では令和2年度～6年度に掛けて、第3次みつわ計画に基づき事業を行っていきます。

会長就任のご挨拶



会長 奥山弘喜

私、去る6月20日の八丈町社会福祉協議会理事會におきまして、会長に選任されました。

至らぬ点、多々あるうかと思いますが、皆様方のご指導、ご支援をいただきながら、なんとかこの重責を全うしてまいりたいと思っております。ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

篤志者の奉仕の気持ちからスタートした福祉の制度も、お金を払って福祉サービスを受ける時代となっております。介護保険制度がスタートした平成12年度からは、利用者自らサービスを選び契約を結んで、サービスを受けることになりました。基本的にはこの制度でサービスを受ける場合は安心して受けることができるようになりました。

しかしながら、膨大な福祉のニーズをすべて賄えるわけではなく、この制度から漏れたニーズへの対応が課題となっております。この課題解決へ向け社協としても取り組んできたわけですが、充分に行き届いたサービスが提供できているとは言い切れないところでございます。

八丈町では介護サービスとは別に、平成29

年から新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」を立ち上げ、介護予防、高齢者の健康寿命を延ばすことや社会参加、人材活用等を目的に介護度の低い方を対象とした事業を進めているところですが、社協としても介護サービスと共に、この事業の一翼を担うべく取り組んでおります。

また、令和2年度から令和4年度までは新型コロナウイルスに振り回され事業の推進にも少なからず影響があったと思います。5類に変更されて以降日常生活も以前に戻りつつあります。しかしながら新規感染者の発生はあるようです。まだまだ油断はしないで取り組んでいかなければなりません。

この要介護状態にならないで、健康寿命を延ばし元気に過ごせることが生活の中で最も重要なことではないでしょうか。

社協の大きな目標に掲げております「誰もが安心して生活できる社会」づくりのため課題は多く、まだ時間を掛けて検討していかなければなりません。昨日より今日、今日より明日と一歩ずつ改善していくことが大切な姿勢だと思います。「誰もが安心して生活できる社会」づくりのためには、関係機関はもとより地域住民の方々のご支援とご協力は不可欠です。福祉の仕事にゴールは無いと思いますが、皆様の協力を得ながら、「誰もが安心して生活できる社会」の実現に向かって頑張っております。

3面でバザー物品寄付のお知らせがありますので、そちらもご覧ください。



暑中お見舞い申し上げます

社協理事・監事の改選が6月20日に行われ、今期の役員が決定しましたのでご報告いたします。任期の2年間、役員・職員一丸となり、地域福祉のために努力していきますので、皆様のご理解とご協力よろしくお願いたします。

八丈町社会福祉協議会 役職員一同

理事・監事

会長 奥山 弘喜

副会長 冬木 克良

笹本 久美代

川上 清福

沖山 綾夫

理事 赤松 都

沖山 紀子

奥山 妙子

小野 高志

葛馬 忠道

笹本 長利

中村 典央

屋良 多恵子

佐々木 攻

監事 内山 江差夫

三浦 章



評議員

三根 小栗 富美代

佐藤 謙

玉置 定子

土屋 芳枝

持丸 のり子

大賀郷 赤間 明美

折田 正江

河野 洋一

菊池 四郎一

菊池 洋子

樫立 磯崎 正

磯崎 千秋

中之郷 山下 和彦

山下 百里子

末吉 浅沼 幸友

玉置 隆一

(※順不同)

8月のサロン日程

8月のサロンは、左記の日程で実施する予定です。

・坂上地域 8月18日(金)

中之郷公民館

・坂下地域 8月21日(月)

社協第2事務所

両会場共 午前10時から11時30分

熱中症に気をつけながら、左記のような脳トレーニングの問題や、体を少し動かすゲームを行っています。

・間違いさがし ・計算問題

・漢字の読み方や書き順

・トランプゲーム

・お手玉入れ ・ボール転がし ・輪投げ

・ミニボーリング 他

お茶を飲みながら、参加された方とお話しをしてリフレッシュしませんか？

皆様のご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】

TEL 2-2609 中島



福祉交流会のご報告

7月1日(土)に、三根小学校体育館で障がい者も健常者も一緒になつて交流を図ることを目的とした福祉交流会を行いました。

今年の参加団体はちよんこめ作業所・八丈島ロベの会・八丈島身障者友の会・よげこん・婦人会・一般参加者・民生委員、社協関係者を含め参加人数は70人となりました。参加者は5チームに分かれ、宝探し・スカイクロス投げ・○×クイズ・綱引きという順番で4種目を行いました。

優勝目指して、どのチームも一生懸命に種目に取り組んでいました。

種目によってはチームのメンバーと相談しながら好結果に繋げたチームもありました。特に最終種目の綱引きは各チーム、力の限り全力を出して大変盛り上げていただきました。そして、各チーム大きな差があまりなかったのだからかなりの接戦になりました。

4種目が終わった後は、団体紹介と各チームの成績を発表して閉会となりました。

新型コロナウイルスの影響により、3年間中止していましたが、今回無事に福祉交流会を開催する事ができてとても良かったです。

ご参加・ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。(中島潮音)



かなりの接戦だった綱引き!

バザー販売物品寄附について

社協の福祉バザーは新型コロナウイルスの影響によって、この3年間中止していましたが、令和5年度は11月19日(日)に実施します。

しかし、多くの方にご好評の大型家具の販売については今年度は行いません。楽しみにされている方々には申し訳ありませんが、ご了承ください。なお、一人で持てる小型家具は受け付けいたします。

販売物品の受付期間は、8月～10月です。大変申し訳ありませんが、社会福祉協議会(保健福祉センター)に持ち込みのみとさせていただきます。主に左記のような物品を受け付けますので、ご協力をよろしく願います。

福祉バザーには大変多くの物品をご寄附頂いています。その仕分け作業には膨大な時間が掛かります。

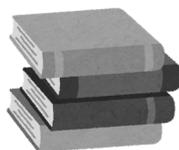
受付可能な物品の例



雑貨



衣類



本・DVD



食器類

※上記の他に、新品のタオル・シーツ、おもちゃ、ベビー用品、小型家具(一人で持てる物)等。

そこで、ご寄附くださる皆様には極力仕分け作業を減らす為に、ご寄附は状態の良い物品のみに限定していただきますようお願いいたします。また、電化製品は保管中に故障の可能性がありますが、受付はご遠慮させていただきます。よろしく願います。

受付不可な物品の例



大型家具



汚れや傷があるモノ



壊れたモノ

※5年度は大型家具の販売は行いません。

福祉バザーは、社協の移送サービスや給食サービスなどの地域福祉事業の財源として、収入を確保する為に始まりました。

長年の開催継続によって、多くの皆様に愛され、社協の広報や資源のリサイクルにも大きな影響を与えるイベントになってきました。しかし、その反面で本業の福祉活動にも影響が出るようになってきました。

大変勝手なお願いではございますが、今後もバザーを継続出来るよう、皆様のご協力をよろしく願います。

福祉バザーの日程や時間などの詳しい内容に關しましては追って、11月の「しゃきょう」に掲載する予定です。

【お問い合わせ】TEL 2-2609 担当 菊池

8月 ボランティアコーナーだより

ボランティアって何だろう

ボランティアについて明確な定義を行うことは難しいですが、一般的には「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指してボランティア活動と言われており、活動の性格として、「自主性(主体性)」、「社会性(連帯性)」、「無償性(無給性)」等があげられています。

元々「ボランティア」の語源はラテン語の「ボランティアス(Voluntas)」で、本来の意味は「自由意志」。それが戦乱の続くヨーロッパで「自警団」や「志願兵」という意味に次第に変化し、今日海外では「自発的に行動すること」という位置付けでこの言葉が使われています。

日本に「ボランティア」という言葉が海外から伝わったのは、約百年前の大正時代。明治時代には、新一万円札の顔となる渋沢栄一が福祉分野の慈善事業で活躍したり、金銭的に余裕のある人が地域福祉を助ける運動が盛んに行われたりしていたため、「ボランティア」という言葉は「慈善活動」という意味に捉えられてしまっただけです。



このように日本と海外では「ボランティア活動」に対しての認識が若干違うようです。そのため、日本人は自発的な活動をしていても「自分がボランティア活動をしている」という認識が低いのではないのでしょうか。

八丈島では様々な活動が行われています。「自分はボランティアなんて、そんな大層な活動はしてないよ」と考える方も居るかもしれませんが、皆さんが普段から行っている活動は、社会にとっても価値があるかもしれません。

八丈町社協では、今後もボランティア活動を推進していきますが、新たにボランティア活動を始めなくても、まずは今ある様々な活動に目を向け、それらの貴重な価値を発見することから始めていきたいと考えています。

皆さんが何気なくしている活動に、ボランティア活動はありませんか? 社会の中でどのような価値があるのかを是非考えてみてください。皆さんの周りにある素敵な活動を是非教えてください。(菊池孔介)



椿油販売の報告

6月22日・23日の2日間、社協の事務所にて椿油の販売を行いました。今年は量が少なく、小瓶46本のみ販売となったため1日目はお一人様一本と販売の制限を設けましたが、多くのお客様にご来場いただき、2日間で完売することが出来ました。

この売上金はボランティアに関する積立金として積み立てており、今後のボランティア事業充実のために活用する予定です。

椿の実ひろい事業は、「椿の実を集めること」「椿油を購入すること」の両面で多くの皆様のご協力によって成り立っています。

今年度も9月より「椿の実ひろい運動」を行う予定です。これまでの経験では豊作の年と不作の年が交互に訪れるようです。昨年は不作だったので、今年は豊作になる事を願います。皆様のご協力をよろしくお願いたします。

